

2025. 6 月 女性チャレンジ応援拠点だより

～チャレンジロードの歩き方～



コラム 「チャレンジ、準備運動」

5月16日に九州南部が梅雨入りした後、22日には飛騨市で今年全国発の猛暑日を記録、近畿も梅雨本番のような蒸し暑さでした。本来の夏はこれからが本番ですから、長い夏にも体力がもつよう、こまめに休息をとりたいものです。秋に大事な仕事が控えているという方も多いはずですから、今のうちから体調管理につとめましょう。

さて5月から始まった『チャレンジロードの歩き方』、2回目の今月は「チャレンジ、準備運動」をお届けします。先月の「応援訓10ヶ条」の第一にあげたとおり、〈本気〉になったときから、あなたの新しいライフステージ・ストーリーが始まります。チャレンジする人それぞれ違う未来が待っているわけですが、共通する大事なポイントもあります。今回は2つにしばってお伝えしましょう。

その一、「未来を構造化する」。一般的にどういう局面で未来が展開するかを知り、目安をつけるのです。多くの場合、新しい試みを始めた時から約3年で小さな節目を迎え、10年目あたりで第一次の節目を迎えます。そして次の10年が大きな節目です。つまり最初の10年は未だ「序章」、次の10年が「本章」で、20年目を迎える頃にはあなたの始めたチャレンジロードが一旦ゴールを迎える、そう捉えましょう。

ただ、まず「序章」の10年を迎えなければ先がありません。初期3年は特に試行錯誤、孤軍奮闘、一喜一憂の期間ですが、その分、学びがたくさんあります。自己認識を新たにし、次のアプローチを刷新できるのです。3年目から6年目の3年間に〈地に足ついた〉実績を積み、7年8年目を迎える頃には、次の10年のさらなるブラッシュアップを構想するのです。"未来を構造化することは、人の緊張を和らげる"（※）という利点があり、「先を読む」（夢や目標に近づくため、現在の状況や傾向から、将来起こりうる可能性や問題を推測し、それに対して準備をすること）につながります。

その二、「場を変える」。自分の世界を変えるとっていいかもしれません。チャレンジに本気になった段階から自然にそう

行動するようになると思いますが、これまでは「敷居が高い」と感じられた場にも行く気になるはず。先日「拠点」に初めて来られた利用者の方がそうでした。一年前に知人から「ぜひ行ってみたら？」と勧められたのに、その時はその気にならなかったそうです。

意外かもしれませんが、チャレンジの想いを受けとめてくれる人は意外と身近にいない。友人にもピンときてもらえない、知人には妙に持ち上げられる、家族からは理屈ぬきに反対されるということもあります。実際、当人の想いは強くても、実現化のプロセスが想像できていないケースもあります。一方でこれからの実現がしっかりイメージできる方もいらっしゃる。どちらの場合も、自身の想いとテーマに正しい認識をもつためにも、新しい場へ、できれば直に出かけてください。実際に見て、話して、聴いて、感じる何か。それが大事です。

「女性チャレンジ応援拠点」では活動や起業などの相談やセミナーなどを実施しています。また、「大阪 NPO センター」などの中間支援組織、そして大阪府立・市立図書館も事業系のセミナーを開催しています。クレオ大阪各館の情報・図書コーナーもそうですが、図書館は何より新しい知に出会う、とっておきの場です。古今東西の書籍のどれかに、あなたのチャレンジテーマやあなた自身の考え方に、光をあててくれる新鮮な知が潜んでいる可能性もあります。多様な知は創造力の源にもなります、これまで親しみのない分野の本にも手をのばしてみましよう。

といったところで今回は終わります。未来に目安をつけ、あなたの世界をよりよく変えて、よりよい社会につなげていきましょう。「女性チャレンジ応援拠点」スタッフ一同、みなさんのチャレンジによりそっていきます。ご利用をお待ちしております。

＜参考文献＞

（※）中井久夫（2017）『世界における索引と徴候 中井久夫集 3 1987-1991』みすず書房

女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4 階
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp

運営：大阪市立男女共同参画センター中央館
（電話 06-6770-7200 FAX 06-6770-7705）

★ 開室日

※日・月・火曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

水	木	金	土
18:00 ～ 20:00	13:00 ～ 15:00	10:30 ～ 12:30	13:00 ～ 15:00

★ 開室時間内は自由に入退室いただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

